



JACET News

一般社団法人 大学英語教育学会

July 2015

The Japan Association of College English Teachers

No.194

目次

巻頭言 (寺内一)	1 頁	支部だより	7 頁
本部だより (上田倫史)	5 頁		

[巻頭言]

会長就任のご挨拶とアクションプラン

一般社団法人大学英語教育学会会長 寺内 一
高千穂大学

平素より本学会の諸活動に対し、格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。2015年6月21日より一般社団法人大学英語教育学会(以下、JACET)の第8代の会長職を拝命いたしました寺内一でございます。甚だ力不足を実感しておりますが、任期中(2017年6月の社員総会まで)は一生懸命職務をまっとうする所

存ですので、皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今後の活動についてお話する前に初心に立ち返り、今から50年以上前に産声をあげたJACETの歴史を簡単に振り返ってみましょう。

1962年、語学教育研究所の研究大会における大学英語教育研究協議会総会で「大学英語教育

学会」の設立が決議されました。記録によれば、当時の参加者は約 120 名だったそうです。翌 1963 年に朱牟田夏雄先生（1963 年 4 月～1968 年 9 月）が初代会長に就任され、現在に至るまで脈々と継承されている夏期セミナーが開始されました。第 2 代会長の小川芳男先生（1968 年 10 月～1984 年 10 月）の時代には、理事会の下に研究企画委員会が設置され、学会活動の実務的な企画・運営が行われるようになりました。また、この研究企画委員会が中心となり、東北、中部、関西、中国・四国、九州・沖縄の各支部の組織化が行われました（北海道支部は 1986 年、関東支部は 2006 年に結成されました）。この時期には科学研究費による大学英語教育に関する実態調査も実施されました。国際応用言語学会（AILA）に加盟し、国際交流が活発化したのもこの時期からのことです。第 3 代会長は梶木隆一先生（1984 年 10 月～1991 年 8 月）で、当時の会員数は創立期から約 18 倍にあたる 2,160 名を超えていました。

第 4 代会長は小池生夫先生（1991 年 8 月～2001 年 9 月）で、1999 年には世界各国から 2,350 名もの参加者を集めた AILA'99 が早稲田大学にて開催され、後述する『JACET 綱領』が出されました。この時期、大学設置基準の大綱化に対応すべき提案が各大学でなされました。また、応用言語学の諸分野の研究が広がりを見せ、JACET 内にも応用言語学に関連する研究会が立ち上げられました。第 5 代会長の田辺洋二先生（2001 年 9 月～2004 年 12 月）は、学会としての規約と組織の改編に取り組まれましたが、誠に残念ながら任期途中にご逝去されました。田辺先生のご遺志を引き継ぐという形で第 6 代会長となられたのが森住衛先生（2004 年 12 月～2010 年 3 月）で、この時期には組織としての規約や財務の見直しを実施され、JACET の念願でもあった社団法人化が実現しました。その後、JACET は法律改正により 2013 年 4 月に現在の一般社団法人となりました。2010 年から 2011 年にかけて、JACET 会員の総力を結集し

た『大学英語教育学大系』全 13 巻が大修館書店から発行されました。第 7 代会長は神保尚武先生（2010 年 4 月～2015 年 6 月）で、一般社団法人としての組織が再編され、JACET 創立 50 周年記念国際大会（2011 年度）が西南学院大学で開催されました。この大会以降、JACET の年次大会はすべて国際大会という位置づけになりました。

その時その時の異なる時代背景の中で JACET は歴史を重ね、今年で設立から 54 年目を迎えました。その歴史ある JACET の第 8 代会長に就任するに際して、会員の皆様とあらためて共有したいことがあります。それは、先に触れました 2001 年 3 月の理事会で決議された『JACET 綱領』です。そこに込められた JACET の基本的精神とは、研究団体にとどまることなく、関連分野の理論と実践に関する研究を通して、英語教育の改善と発展に寄与する団体であろうとするものです。われわれは、外国語教育を通して、次世代の人間の教育に当たる責任と気概をもち、研究と教育の両輪を軸とした組織であることを再認識する必要があります。その『JACET 綱領』を掲載しておきます。

大学英語教育学会は 21 世紀を迎え、覚悟を新たに、創設の精神を確認し、人類社会に貢献する。

（目的）

1. 本学会は英語教育および関連分野の理論と実践に関する研究を行い、大学における英語教育の改善と進歩、発展に寄与することを目的とする。
2. 本学会は 21 世紀を広く、大きく、遠く展望し、日本および世界人類のために着実に活動する。
3. 本学会は大学英語教育、ひいては日本の外国語教育の改革を目指す。

（精神）

4. 本学会は日本の外国語教育を通して、次世代

の人間の教育に当たる責任と気概を持つ。

5. 本学会は研究団体にとどまるものではなく、研究と教育の実践を目指す運動体である。会員はつねに学生とともにあることを自覚する。
6. 本学会会員は自らが学会を担っていく熱意と連帯感を持ち、Service and Sacrifice の精神を維持する。

(活動)

7. 本学会は国内関連団体および関係方面と協力し、外国語教育等の改善を進める。
8. 本学会は国際社会において広く諸外国の関連団体と連携し、積極的に協力し、相互の発展をはかる。
9. 本学会会員は相互の信頼を基盤として、学会活動において前向きに、愉快、融和をもって積極的に研究と教育を行う。
10. 本学会は本部、支部の連絡をつねに緊密に取り、全組織をあげて活動を進める。

2001年3月31日

さて、設立55年目を目前にして、われわれはこの『JACET 綱領』に掲げられた精神をどう具現化していくべきなのでしょう。インターネットなどのテクノロジーは飛躍的に発展し、グローバル化は予想以上のスピードで進んでいます。それに伴い、英語を取り巻く環境も大きく変化しています。円滑なコミュニケーションを行うために、聞く・話す・読む・書くといういわゆる4技能を磨くことが大事なことに変わりはありませんが、その質的な側面には変化が生じています。インターネットやビジネスの世界では非英語母語話者が英語を使用する割合がますます高まっています。電子メールやインターネットの利用が日常化し、英語によるプレゼンテーションやディスカッションができる技能が社会的にも求められています。タブレット端末の発達によりクラスルーム内で求められる

技能も急速に変化し、コミュニケーションの形態も大きく変わってきています。

このようなICTの浸透、グローバル化が進む時代において、『JACET 綱領』に基づいて取り組むべき具体的な行動とは一体どのようなものなのでしょうか。ここで私は会長として1つのスタンダード(基本方針)と3つのアクションプラン(行動計画)を掲げたいと思います。

スタンダード JACET は、教育者でありかつ研究者である会員の研究教育の運動体である

まず、「JACET は、教育者でありかつ研究者である会員の研究教育の運動体である」ことをスタンダードとして掲げます。テクノロジーの進化やグローバル化の進行の速さに立ち位置を見失いがちな時代であるからこそ、自らの原点を再確認し、役割を自覚することが何よりも重要です。『JACET 綱領』の精神に則って、JACET は、学生の英語力やグローバル人材の育成に寄与するため、学生とともに歩む教育者でありかつ研究者であるという自覚を会員の皆様に促す場となり、研究教育を推進する団体であることを再確認しましょう。

つぎに、スタンダードを具現化するための3つのアクションプランです。(1)個人・グループの研究・教育のレベル向上、(2)グループ・組織の協働の場の創設と活性化、(3)JACETとしての活動の活性化という3つのアクションプラン(行動計画)を掲げ、会員の皆様と共有していきたいと考えております。

アクションプラン1 研究レベルの向上と研究・教育成果のアウトプットの促進

【研究】JACET が研究者の集まった組織体であることを十分に認識した上で、個人レベルはもちろん、研究会や特別委員会など集団による研究成果を積極的に公開できる場を提供していきます。手始めとして、

今年度から研究会の成果物を Web で公開し、さらに鹿児島大学での第 54 回国際大会では研究会の活動内容をポスター発表する機会を設けることとしました。また、来年度の国際大会から大学院生や若手研究者の育成を目指して、国際雑誌への投稿ができるように論文執筆に関するワークショップを開催したり、最新の研究に触れる機会を設けるため応用言語学の一領域を選んだ特別講義「State of the Art」シリーズを始めたりする計画があります。

【教育】JACET にはさまざまな研究の成果を教育に応用し、実践に結び付けている会員の先生方が多数おられます。その良き実践例を可視化し、学会全体で共有して、普及させていくことで、大学英語教育全体に寄与する計画があります。その最初のステップとして来年度の国際大会では教育や授業の実践例を広く募集していきます。

アクションプラン2 グループ・組織の協働の場の創設と活性化

【研究】全国の高等教育機関に学会員を抱えている組織であることを最大限に活用して、個人レベルではなく、学会全体として調査研究を行うことを奨励していきます。近いうちに、JACET がほぼ 10 年ごとに行ってきた英語教育の実態調査を実施します。日本の大学生の英語力と各大学の英語教育の実情を正確に把握するために、アンケートとインタビューを実施するとともに、会員の皆様からの報告も踏まえて正確に実態を把握していきます。そのためには、産学連携をはかり、賛助団体をはじめとした諸組織と共同研究を進めていくことも検討しなければなりません。また、JACET (日本)、CELEA (中国)、ALAK (韓国) の東アジアに位置する 3 つの応用言語学会の連携が、AILA East-Asia という形で昨年度から始まりました。3 つの組織の年次大会で順番にシンポジウムを開催することになり、今年度は JACET が当番となって、鹿児島大学での国際大会で最初のシンポジウムが行われ

ます。今後、こうした提携学会との連携活動を積極的に行い、さらには、提携学会の研究会同士との連携による共同研究も模索していきます。そして、京都大学での第 52 回国際大会でお約束したように国内の諸学会との連携も進めてまいります。

【教育】さまざまな研究成果を実際の教育現場に提供すべく、組織として産・官・学のプロジェクトを企画し、学会として大学だけでなく、小中高大の教育全体に寄与できる提言を行ってまいります。

アクションプラン3 JACET としての活動の活性化と明確化

【ホームページ】グローバル時代に対応すべく、学会の顔であるホームページの刷新を行い、迅速な情報発信を行います。今年 8 月に鹿児島大学で行われる国際大会でその雛形を提示する予定です。

【ジャーナル】JACET には『紀要』、『Selected Papers』と各支部の『支部紀要』があります。『紀要』と『Selected Papers』を JACET International として、世界の研究者に認知され、読まれ、引用されるように準備していきます。具体的には、掲載論文の水準を国際標準に格上げできるようにと考えています。また、『支部紀要』を JACET Domestic として、JACET International との棲み分けを行い、若手を含めた多くの会員がチャレンジできる機会を増やしてまいります。

【イベント】国際大会とサマーセミナー、英語教育セミナーは、JACET の良き伝統として広く認知されているところですが、時代の変化と共に制度疲労を起こしている面があることも否めません。今の時代に合う、グローバル化された現代にふさわしい学会イベントとなるように内容そのもの見直しを進めます。また、学会イベントにおいて、本部が果たすべき役割と支部が果たすべき役割は異なります。その役割分担を明確にして、多くの参加者を呼び込めるような企画運営へと刷新してまいります。

JACETの歴史的な経緯を振り返ると共に、今後の柱となるスタンダードと3つのアクションプランを提示しました。今後は、アクションプランの細部を詰め、具現化していく必要があります。そのためには、役員はもちろんですが、会員の皆様のお一人お一人の参画が欠かせません。JACETの発展と日本の英語教育に貢献できるよう最善を尽くしてまいりたいと思いますので、会員の皆様の益々のご理解とご協力をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。皆様のご健勝とご発展を心より祈念し、ご挨拶の言葉とさせていただきます。

本部だより

代表幹事 上田倫史 (駒澤大学)

平素より JACET の活動にご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。今年度より代表幹事を務めさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

さて、今年度の7月以降の主な行事をお知らせいたします。

7月

- 1日(水)『JACET 通信 194号』発行(日本語 Web 版)
- 3日(金) KATE2015 International Conference (～4日(土)まで)(ソウル・韓国)(→8月に延期*)
- 4日(土)北海道支部大会、支部総会(ニセコ町)
同 東北支部大会、支部総会(仙台市民会館)
- 11日(土)関西支部第1回支部講演会(甲南大学(予定))
同 九州・沖縄支部春季学術講演会、支部総会(西南学院大学)
- 12日(日)関東支部大会(青山学院大学青山キャンパス)
- 18日(土)運営会議

30日(木)『大学英語教育学会 中国・四国支部ニューズレター』15号刊行

31日(金)『JACET 関西支部ニューズレター』72号刊行(電子媒体)

8月

18日(火)～20日(木) JACET サマーセミナー(草津スカイランドホテル)

27日(木)～28日(金) (AILA EBIC business meeting (JR九州ホテル鹿児島))

28日 理事会

29日(土)～31日(月) 第54回国際大会(鹿児島大学郡元キャンパス)

AILA East-Asia シンポジウム(国際大会開催時)

30日(日) JACET 賞授賞式

31日(月) 会員総会

(日付未定)『JACET International Convention Selected Papers』2号刊行

*29日 KATE2015 International Conference (ソウル・韓国)

9月

12日(土) 青山学院大学英語教育研究センター・JACET 関東支部共催講演会(青山学院大学)

19日(土) ALAK 2015 International Conference (韓国)

30日(水)『JACET 関東支部ニューズレター』5号刊行

(未定) PKETA 国際大会(韓国)

10月

10日(土) 青山学院大学英語教育研究センター・JACET 関東支部共催講演会(青山学院大学)

17日(土) 関西支部第2回支部講演会(同志社大学(予定))

24日(土) 中部支部 秋季定例研究会(中部大学(予定))

同 中国・四国支部 秋季研究大会(松山大学)

11月

1日(日)『JACET 関西支部ニューズレター』73号
刊行

14日(土) 関東支部月例研究会(青山学院大学)

21日(土) 運営会議

同 九州・沖縄支部秋季学術講演会(西南学院大学)

28日(土) 第3回JACET 英語教育セミナー(神戸
学院大学ポートアイランドキャンパス)

同 関西支部秋季大会、支部総会(JACET 教育セミ
ナーとの同時開催)

29日(日) 東北支部例会(仙台市民会館(予定))

30日(月) 『The JACET Kyushu-Okinawa Chapter
Annual Review of English Learning and Teaching』

20号刊行

(未定) 北海道支部 支部研究会(帯広畜産大学)

(未定) The 24th International Symposium and
Book Fair on English Teaching (ETA-ROC) (台湾)

12月

1日(火)『JACET 通信』195号(日本語版、及びWeb
版)刊行

同 『会員名簿』刊行

12日(土) 青山学院大学英語教育研究センター・
JACET 関東支部共催講演会(青山学院大学)

同 中部支部講演会、支部総会(名城大学(予定))

20日(日) 理事会

同 『中部支部紀要』13号刊行

同 『JACET-Chubu Newsletter』35号刊行

(未定) 中国・四国地区大学間連携イベント Oral
Presentation & Performance (OPP)研究会(場所
未定)

2016年

1月

9日(土) 青山学院大学英語教育研究センター・
JACET 関東支部共催講演会(青山学院大学)

20日(水)『大学英語教育学会 中国・四国支部ニ
ューズレター』16号刊行

30日(土)『北海道支部紀要』13号刊行

(未定) 北海道支部 支部研究会(武蔵女子短期大学)

(未定) Thai TESOL 国際大会(タイ)

2月

上旬(予定) 『紀要』60号の刊行

20日(土)(予定) 中部支部春季定例研究会(中部大
学(予定))

3月

1日(火)『JACET 通信』196号(英語Web版)刊
行

5日(土)(予定) 関西支部第3回支部講演会(関西
学院大学梅田キャンパス(予定))

21日(月) 理事会(予定)

31日(木)『JACET 北海道支部ニューズレター』29
号刊行

同 『TOHOKU TEFL (JACET 支部紀要)』6号刊
行

同 『JACET 東北支部通信 (JACET Tohoku News-
letter)』刊行

同 『JACET 関東支部紀要』3号刊行

同 『JACET 関東支部ニューズレター』6号刊行

同 『JACET 関西紀要』18号刊行

同 『大学英語教育学会 中国・四国支部紀要』13号
刊行

次に、役員等の人事についてご報告いたします。昨
年度実施された社員選挙により 85 名の方が社員と
して選ばれました(北海道支部 3 名、東北支部 3 名、
関東支部 36 名、中部支部 9 名、関西支部 21 名、中
国・四国支部 5 名、九州・沖縄支部 8 名)。また、6
月 21 日新たに選任された社員による第 1 回社員総
会が開催され、任期満了に伴う役員を選任が行われ
ました。新たな理事および監事は以下の方々です。

理事：浅川和也 岩井千秋 大森裕實 小栗裕子
尾関直子 小田眞幸 河野円 木村松雄
佐野富士子 志水俊広 鈴木達也 高橋潔
田地野彰 寺内一 富田かおる 内藤永

野口ジュディー津多江 樋口晶彦 松岡博信
横山吉樹 (以上20名、任期2年)

監事：駒田誠、笹島茂 (以上2名、任期2年)

また、第1回社員総会にて、以下の理事および監事が任期満了により退任となりましたのであわせてお知らせいたします。

理事：神保尚武 中野美知子 木村博是 山内ひさ子
笹島茂 河合靖 小嶋英夫 大石晴美 梅咲
敦子 (以上9名)

監事：見上晃 (以上1名)

その他の人事の詳細は、学会ウェブページに掲載されておりますのでご参照ください。

支 部 だ よ り

<九州・沖縄支部>

1. 支部大会、支部講演会、研究会等の開催

(1) 学術講演会

①2014 JACET 九州・沖縄支部秋季学術講演会

日時：2014年11月22日(土) 15:30~17:00

会場：鹿児島大学 郡元キャンパス

講演：「ビジネスに求められる英語力ー2006年と2013年の2つの調査から得られた知見と英語教育への応用ー」

講師：寺内一 (高千穂大)

②2015 JACET 九州・沖縄支部春季学術講演会

日時：7月11日(土) 15:30~17:30

会場：西南学院大学

講演：Making It Real: Fiction, Film, and the

Teaching of English Communication Skills

講師：Scott Pugh (福岡女子大)

(2) 研究会

①第149回東アジア英語教育研究会

日時：1月24日(土) 15:30~17:30

会場：西南学院大学

研究発表(1)：「高等学校での教育実習における実践とアンケート調査結果の報告ー高校生の英語に対する意識ー」

発表者：岡田美鈴 (九州大・院)

研究発表(2)：「TOEFL とセンター試験の長文問題比較：語彙及び内容における妥当性」

発表者：柏木哲也 (北九州市立大)

②第150回東アジア英語教育研究会特別研究会

日時：2月21日(土) 15:30~17:30

会場：西南学院大学

講演：「グローバル化時代の大学英語教育ーEFL環境下での日本の英語教育は如何にあるべきか」

講師：小田真幸 (玉川大)

③第151回東アジア英語教育研究会

日時：3月14日(土) 15:30~17:30

会場：西南学院大学

研究発表：「観光産業と言語習得ー朝鮮半島における言語習得状況の考察からー」

発表者：出野由紀子 (東洋大)

④第152回東アジア英語教育研究会

日時：4月18日(土) 15:30~17:30

会場：西南学院大学

研究発表(1)：「イギリス短期語学研修による英語学習効果」

発表者：トーマス・ケイトン (中村学園大短期大学部)

研究発表(2)：「ミャンマーの英語教育：現状と課題」

発表者：イ・ソミン（九州大・院）
研究発表(3)：「CLIL で学ぶ食育」
発表者：津田 晶子（中村学園大短期大学部）

⑤第 153 回東アジア英語教育研究会
日時：5 月 16 日（土）15:30～17:30
会場：西南学院大学
研究発表(1)：「中学校英語検定教科書の比較研究－学習指導要領中学校(外国語)に基づいて－」
発表者：中尾 佳代（鹿児島高）
研究発表(2)：An Integrated Instruction in English for Nursing: A Case Study
発表者：樋口 晶彦（鹿児島大）

⑥第 154 回東アジア英語教育研究会
日時：6 月 20 日（土）15:30～17:30
会場：西南学院大学
研究発表(1)：「大学入試センター試験（外国語・英語）に代わる業者試験の“Speaking Test”とは」
発表者：木下正義（元福岡国際大）
研究発表(2)：『国際ビジネスプログラム』における英語教育とその効果について
発表者：古村由美子（長崎大）

⑦第 155 回東アジア英語教育研究会
日時：7 月 18 日（土）15:30～17:30
会場：西南学院大学
特別シンポジウム：「言語研究とコーパスの接点」
発題(1)：「日本人大学生は 1 分間にどれだけ英語を話せるか？国際比較調査から考える日本の英語教育の課題」
発表者：石川慎一郎（神戸大）
発題(2)：「中日語集交流の歴史を考える」
発表者：張莉（神戸大・院／北京外国語大）
発題(3)：「コーパスに基づく関係代名詞 which の機能と修得」

発表者：前村水奈子（長崎純心大・院）
⑧第 22 回 ESP 研究会
日時：7 月 18 日（土）13:00～
会場：熊本大学
研究発表(1)「日本の ESP 再考」
発表者：山内ひさ子（長崎県立大[非]）
研究発表(2)「言語教育における質管理と質保証」
発表者：荒木瑞夫（宮崎大）
研究発表(3)「留学生との交流学习プログラムと今後の課題」
発表者：山本佳代（宮崎大）
研究発表(4)「初期訓練生に対する航空英語教育：ICAO LEVEL 4 に係る教材開発と指導法」
発表者：縄田義直（航空大学校）
研究発表(5)：Developing a survey-based course for non-English majors
発表者：Joel Hensley（宮崎県立看護大）
研究発表(6)：Task-Based Instruction in English for Medical Purpose: Advantages and Disadvantages
発表者：樋口晶彦（鹿児島大）

2. 支部総会・支部役員会等の開催

(1)支部総会
日時：7 月 11 日（土）14:00～15:00
会場：西南学院大学
議題：
1)2014 年度活動報告について
2)2015 年度活動計画について
(2)支部役員会
①2014 年度第 5 回役員会
日時：11 月 22 日（土）14:00～16:00
会場：西南学院大学
議題：2015 年度 JACET 第 54 回国際大会について、他

②2014年度第6回役員会

日時：2月21日（土）14:00～16:00

会場：西南学院大学

議題：2015年度 JACET 第54回国際大会について、
他

③2014年度第7回役員会

日時：3月14日（土）14:00～16:00

会場：西南学院大学

議題：2015年度 JACET 第54回国際大会について、
他

④2015年度第1回役員会

日時：4月25日（土）13:00～16:30

会場：西南学院大学

議題：JACET 第54回国際大会について、他

⑤2015年度第2回役員会

日時：5月30日（土）11:00～13:00

会場：西南学院大学

議題：JACET 第54回国際大会について、他

⑥2015年度第1回支部紀要編集委員会

日時：6月20日（土）14:00～16:00

会場：西南学院大学

議題：2015年度九州・沖縄支部紀要編集について、
他

⑦2015年度第3回役員会・第2回支部紀要編集委員会

日時：7月11日（土）11:00～14:00

会場：西南学院大学

議題：JACET 第54回国際大会について、2015年度
九州・沖縄支部紀要編集について、他

(伊藤健一・北九州市立大学)

<中国・四国支部>

1. 支部研究会等の開催

(1)支部春季研究大会

日時：2015年6月6日（土）14:00～17:20

場所：広島工業大学

研究発表

第1室

- 1) 「ホーソンの「あざ」における文化と人称代名詞」
藤居真路（広島県立尾道商業高）
- 2) 「オープン・ボイス：スピーキングの練習とテスト
のためのサイト開発」松田雅子（岡山県立大）ジュ
ディス・三上（岡山県立大）アンドレ・宮田（海外
コネクション）

3) 「Teaching English in English」 「大学英語教育の現
状と今後の予想」岩井千秋（広島市立大）

4) 「大学における OPIc (Oral Proficiency Interview
by computer) の活用シーンと英語コミュニケー
ションスキルの実態」八木智裕（NEC マネジメン
トパートナー）

5) 「「教室内英語タスク別評価尺度」の開発」池野修
（愛媛大）・中田賀之（同志社大）・木村裕三（富山
大）・長沼君主（東海大）

6) 「OPP イベントを通じた協働学習活動とその教育
効果」三熊祥文（代表者 広島工業大）・岩井千秋（広
島市立大）・二五義博（海上保安大学校）・三宅美鈴
（広島国際大）・山中英理子（広島国際大）・吉本和
弘（県立広島大）・堀部秀雄（広島工業大）・平本哲
嗣（安田女子大）

第2室

- 1) 「洋楽を外国語教育の教材として活用する可能性に
ついて—英語に苦手意識を持つ大学生を対象とし
た授業実践報告—」西川憲一（岡山理科大）
- 2) 「話し言葉コーパスを用いた日本人英語学習者向け

語彙リストの分析」山本五郎（広島大）

- 3) 「Moodle・WBT・反転授業による学習者主体のライティング授業の試み」榎田一路（広島大）
- 4) 「ピア・フィードバックを活用したライティング指導」奥田利栄子（広島大・広島修道大）
- 5) 「The American Heritage First Dictionary の語義と連想について」田淵博文（就実大）
- 6) 「英語学習初期段階における発音到達度指標の提案—日本語母語話者ための「英語音声共通参照枠」の構築に向けて—」上斗晶代（県立広島大）

2. 支部総会・支部役員会等の開催

(1) 支部総会

日時：2015年6月6日（土）13:30～13:50

場所：広島工業大学

議題：

- 1) 議長選出
- 2) 2014年度事業報告
- 3) 2015年度事業計画および役員一覧
- 4) 2014年度会計報告
- 5) 2015年度会計予算
- 6) OPP について
- 7) その他

(2) 支部役員会

①第1回役員会

日時：2015年6月6日（土）11:00～13:00

場所：広島工業大学

議題：

- 1) 来年度の事業計画について
- 2) 今年度の活動について
- 3) 支部紀要の発行規程変更について
- 4) その他

3. その他

(1) 支部ニューズレターの発行

『大学英語教育学会中国・四国支部ニューズレター』
第15号 発行日：2015年7月30日（予定）

（鳥越秀知・香川高等専門学校）

<関西支部>

1. 支部大会、支部講演会等の開催

(1) 支部大会

①支部春季大会（予定）

日時：2015年6月27日（土）10:00～17:10

場所：大阪教育大学 天王寺キャンパス

シンポジウム 1：

「海外研修プログラムを活用したグローバル人材育成の試み」講師：中田葉月（大阪教育大）、辻和成（武庫川女子大）、Craig Smith（京都外国語大）

シンポジウム 2：

「英語リーディング研究最前線：リーディングのしくみやリーディングの授業に関する最近の研究について」講師：川崎真理子（高崎経済大[非]）、野呂忠司（愛知学院大）、中野陽子（関西学院大）

ワークショップ：

「教室で如何に効果的な多読指導を行うか」高瀬敦子（関西大[非]）

研究発表・実践報告：

- 1) 「多読のきっかけ作り：選択科目としての多読授業実践報告」松田早恵（摂南大）
- 2) 「理系研究者による英語でのQ&Aセッションへの対応プロセスと、質疑応答指導の提案」島村東世子（大阪大[非]）
- 3) 「クリティカルライティングにおける辞書使用の効果—理論と実践」葛田和美（京都産業大）
- 4) 「アカデミックライティング授業において協働学習とピア評価が自己効力感に及ぼす影響：授業デザインモデル化を目指して」石井研司（立命館大）
- 5) “A Survey Study on English Proficiency and Teaching Skills for Teaching English in Japanese Elementary Schools” Mai Matsunaga（京都産業大）
- 6) 「リメディアル教育におけるコンピュータ指導法の

- 再考」本田隆裕（神戸女子大）
- 7) “Measuring the Effects of Sentence-based Writing Practice on L2 Writing Complexity and Quality” Paul J. Marlowe（神戸大）
- 8) “Thesis Advising for Students Writing in English” Sanborn Brown（大阪教育大）
- 9) 「大学生の英語受容語彙の知識に関する諸問題」竹蓋順子（大阪大）
- 10) 「日本人大学生の言語形式の選択能力に関する一考察」岡本真由美（関西大）
- 11) “The Grammar and Vocabulary of Film” Michael Herke（摂南大）
- 12) 「ポップ・カルチャー型教材の効用に関する理論モデルの構築」仁科恭徳（神戸学院大）
- 13) 「World Englishes Paradigm」における二つの根本概念」加藤雅之（神戸大）

②支部秋季大会+英語教育セミナー（予定）
 日時：2015年11月28日（土）10:00～18:00
 場所：神戸学院大学 ポートアイランドキャンパス

第3回英語教育セミナー

目的：グローバル化を見据えた英語教育の先進的取り組みについて小中高大の英語教育関係者間で情報の共有をはかる

15:00～16:00

「コマーシャルプレゼンテーション」（教材会社他による賛助発表など）

16:00～18:00（※発表題目は仮）

特別シンポジウム：

「中高大グローバル教育最前線：SGH/SGU校の取り組み」

- 1) 「グローバル化に向けた神戸大附属中等教育学校の取り組み：英語教育と卒業研究の連携を中心に」岩見理華（神戸大附属中・グローバル教育推進室長）
- 2) 「グローバル化に向けた京都工芸繊維大の取り組み：スピーキングテスト導入を中心に」羽藤由美（京都工芸繊維大）
- 3) 「グローバル化に向けた立命館大の取り組み：プロジェクト発信型英語プログラムを中心に」山中司（立命館大・国際部副部長）

- (2) 支部講演会
 ①第3回講演会

日時：2014年3月7日（土）15:30～17:00
 場所：関西学院大学 梅田キャンパス
 講師：教材開発研究会
 ゲストスピーカー：林桂子（広島女学院大）
 題目：「多重知能（MI）理論を応用したリメディアル英語教材開発」

②第1回講演会（予定）

日時：2015年7月11日（土）15:30～17:00
 場所：神戸大学 鶴甲第1キャンパス
 講師：Jay Klaphake, J. D.（京都外国語大）、Angus McGregor（京都外大西高）、塩見佳代子（立命館大）
 題目：TEDxKyoto で繋ぐコミュニティとTEDトークの革新的なアイデアを活用した英語授業

③第2回講演会（予定）

日時：2015年10月17日（土）
 場所：同志社大学

2. 支部総会・支部役員会等の開催

(1) 支部総会（予定）

日時：2015年11月28日（土）
 場所：神戸学院大学 ポートアイランドキャンパス

(2) 支部役員会

①第3回役員会

日時：2015年3月7日（土）13:30～15:00
 場所：関西学院大学 梅田キャンパス
 議題：

- 1) 2015年度事業案
- 2) 2015年度人事案
- 3) 関西支部・支部運営要領改定案
- 4) 2015年度支部研究企画委員長および副委員長の承認
- 5) 支部紀要刊行日程の改定案

②第1回役員会（予定）

日時：2015年7月11日（土）
 場所：神戸大学 鶴甲第1キャンパス

③第2回役員会（予定）

日時：2015年10月17日（土）
 場所：同志社大学

3. その他

(1) 支部ニューズレターの発行

1) *JACET Kansai Newsletter* No. 71

発行日：2015年5月16日

2) *JACET Kansai Newsletter* No. 72

発行日：2015年7月31日 (予定)

3) *JACET Kansai Newsletter* No. 73

発行日：2015年11月1日 (予定)

(吉村征洋・摂南大学)

<中部支部>

1. 支部大会、支部講演会、研究会等の開催

(1) 支部大会 (予定)

日時：2015年6月20日(土) 10:00~17:00

場所：南山大学 名古屋キャンパス

大会テーマ：豊かなコミュニケーション力を育む「ことば」の力

Exploiting Potentialities of 'language' in order to Enhance Profound Communication

特別講演

「行動派の回想と展望—東大グローバルコミュニケーション研究センター設立の裏側—」高田康成 (名古屋外国語大)

シンポジウム

テーマ：社会が求める英語力と大学で涵養する英語力のインターフェイス

1) 「Register/Style を意識した Usage-based Grammar for Advanced Learners」大森裕實 (愛知県立大)

2) 「論理と感情」袖川裕美 (プロ会議通訳者)

3) 「講義としての「翻訳」の勧め」池田年穂 (慶應義塾大・名誉教授)

4) 「“Awareness”の三本柱—会話の文法、イディオム、

および発話力—」豊田昌倫 (京都大・名誉教授)

研究発表

1) “Focusing on Oral and Grammar Skills for TOEIC®” Kayoko Nakagawa (Kanazawa Inst. of Technology)・Marie Daito (Kanazawa Inst. of Technology)・Seita Hayashi (Kanazawa Inst. of Technology)

2) 「豊かなコミュニケーション力として活用できる基礎力とは何か—英語の幹「語順」「リズム」を学ぶ授業を—」山田昇司 (朝日大)

3) “Student Response to Singing in Speaking Classes” Yukiko Yamami (Nagoya U. of Foreign Studies (Part-time))

4) “Using Texts as Portholes for Topic Exploration” Mark Rebeck (Meijo U.)

5) 「グループ活動を英語で行うための指導—実践報告と今後の課題—」加藤和美 (東海大)

6) 「学習者の自伝 (Learner's autobiography) に対する分析—ヴィゴツキーの概念発達の観点から—」森明智 (東京理科大)

(2) 春季定例研究会

日時：2015年2月28日(土) 13:30~17:40

場所：名古屋工業大学

講演

「大学英語教育、科学技術英語及び化学技術・イノベーション政策」高橋正人 (情報通信研究機構)

研究発表

「英文の文脈情報は英単語の処理を促進するか」梁志鋭 (名古屋大大学院・研究員)

「英語教育における階層的句構造分析の活用について」鈴木達也 (南山大)

「アジアにおける3言語話者の英語閉鎖子音のVOTに関する考察」清水克正 (名古屋学院大)

研究会発表 (ESP研究会)

「看護専門学校での ESP 教育の実践」馬場恵子 (中部大[非])・滝川桂子 (名古屋文理大短期大学部[非])

(3) 秋季定例研究会 (予定)

日時: 2015 年 10 月 24 日 (土)

場所: 中部大学 鶴舞キャンパス

講演・研究発表 (題目等未定)

2. 支部総会・支部役員会等の開催

(1) 支部総会

① 第 1 回

日時: 2015 年 6 月 20 日 (土) (予定)

場所: 南山大学 名古屋キャンパス

議題:

- 1) 2015 (平成 27) 年度理事会報告
- 2) 2014 年度中部支部事業報告
- 3) 2014 年度中部支部会計収支報告
- 4) 2015 年度人事について
- 5) 2015 年度中部支部事業計画について
- 6) 2015 年度中部支部予算について

(2) 支部役員会

① 2014 年度第 8 回役員会

日時: 2014 年 2 月 28 日 (土)

場所: 名古屋工業大学

議題:

- 1) 事務局報告 (第一号事業関連及び支部会役員関連)
- 2) 会計報告 (2015.2.26 現在)
- 3) 第 31 回 (2015 年度) 中部支部大会
- 4) その他 (田中春美顧問から Larry Smith 氏及び第 4 代中部支部長丹下省吾氏の計報についての報告)

② 2015 年度第 1 回役員会

日時: 2015 年 4 月 11 日 (土)

場所: 南山大学

議題:

1) 2014 (平成 26) 年度本部報告

2) 本部事業「第 2 回英語教育セミナー」(中部支部担当) について

3) 事務局報告 (2014(平成 26)年度春季定例研究会報告ほか)

4) 会計報告 (2015.3.31 現在)

5) 第 31 回 (2015 年度) 中部支部大会

6) JACET・Chubu Newsletter No.34(2015)について

③ 2015 年度第 2 回役員会

日時: 2015 年 5 月 16 日 (土)

場所: 南山大学

議題:

- 1) 本部報告
- 2) 事務局報告
- 3) 会計報告 (2015.5.6 現在)
- 4) 第 31 回 (2015 年度) 中部支部大会

④ 2015 年度第 3 回役員会 (予定)

日時: 2015 年 6 月 20 日 (土)

場所: 南山大学

⑤ 2015 年度第 4 回役員会 (予定)

日時: 2015 年 7 月 11 日 (土)

場所: 南山大学

⑥ 2015 年度第 5 回役員会 (予定)

日時: 2015 年 10 月 24 日 (土)

場所: 中部大学

⑦ 2015 年度第 6 回役員会 (予定)

日時: 2015 年 11 月 14 日 (土)

場所: 南山大学

3. その他

(1) 支部ニューズレター発行

1) JACET-Chubu Newsletter No. 34

発行日：2015年5月10日

(村田泰美・名城大学)

<関東支部>

1. 支部大会、支部講演会等の開催

(1) 支部大会

日時：2015年7月12日(日) 9:30～17:35

場所：青山学院大学 青山キャンパス

大会テーマ：統合型英語教育における異文化間多様性
Intercultural Diversity of Integrated Learning in
English Education

基調講演：

「字幕の後ろに見えるもの」戸田奈津子(映画字幕翻訳者)

招待講演

「グローバル化時代の英語教育—異文化間コミュニケーション能力育成の意義と課題」中山夏恵(共愛学園前橋国際大)、栗原文子(中央大)

全体シンポジウム

「統合型英語教育における異文化間多様性」笹島茂(東洋英和女学院大)、塩澤正(中部大)、森住衛(大阪大・桜美林大・名誉教授)

研究発表17件、実践報告9件、賛助会員発表3件

(2) 月例研究会

①第1回月例研究会

日時：2015年5月9日(土) 16:00～17:20

場所：青山学院大学 青山キャンパス

研究発表：「効果的な第二言語語彙学習方法を目指して」中田達也(関西大)

②第2回月例研究会

日時：2015年6月13日(土) 16:00～17:20

場所：青山学院大学 青山キャンパス

研究発表：「CLILの理論と実践—フィンランド海外教育実習をとおして—」柏木賀津子(大阪教育大)

③第3回月例研究会(予定)

日時：2015年11月14日(土) 16:00～17:20

場所：青山学院大学 青山キャンパス

研究発表：「日本人英語学習者と教師の英語の重要性と必要性の認識に関する質的研究」(仮題) 田中祥子(東京大・院)

(3) 講演会(青山学院大学英語教育研究センター・JACET 関東支部共催)

2015年度第1回講演会

日時：2015年4月11日(土) 16:00～17:30

場所：青山学院大学 青山キャンパス

題目：「学校英語教育における CAN-DO リストの課題」高田智子(明海大)

※月例研究会・講演会の詳細は、支部会員 ML にて配信及び関東支部 HP 上に掲載されますので、ご覧ください。

2. 支部総会・支部役員会等の開催

(1) 支部総会

第1回支部総会

日時：2015年7月12日(日)

場所：青山学院大学 青山キャンパス

議題：2014年度事業報告・会計報告、2015年度事業計画について

(2) 支部役員会

①第1回支部運営会議

日時：2015年4月11日(土) 14:30～15:30

場所：青山学院大学 青山キャンパス

議題：

- 1) 発表者変更について
- 2) 関東支部のプロジェクトについて
- 3) 支部紀要について

(高木亜希子・青山学院大学)

②第2回支部運営会議

日時：2015年5月10日(土) 14:30～15:30

場所：青山学院大学 青山キャンパス

議題：

- 1) 発表者変更について
- 2) 支部大会紀要とプログラムの発送について

③第3回支部運営会議

日時：2015年6月13日(土) 14:30～15:30

場所：青山学院大学 青山キャンパス

議題：

- 1) 支部大会紀要とプログラムの発送について
- 2) 支部大会のアンケートについて
- 3) 支部HPについて

④2015年度支部運営会議(予定)

第4回9月12日(土) 14:30～15:30 (場所：青山学院大学)

第5回10月10日(土) 14:30～15:30 (場所：青山学院大学)

第6回11月14日(土) 14:30～15:30 (場所：青山学院大学)

3. その他

(1)支部紀要の発行

『JACET 関東支部紀要』第2号

発行日：2015年3月31日

(2)支部ニューズレターの発行

『JACET 関東支部ニューズレター』第5号

発行日：2015年9月30日(予定)

<東北支部>

1. 支部大会、支部講演会、研究会等の開催

(1) 支部大会(予定)

日時：2015年7月4日(土) 13:40～17:00

場所：仙台市情報・産業プラザ

特別・記念講演：

1) “Bridging the gap between academia and the real world” 野口ジュディ・津多江(神戸学院大)

研究発表：

1) 「CAN-DO リスト普及の現状とその改善について」金子淳(山形大)

(2) 支部例会(予定)

日時：2015年11月29日(日) 14:00～17:00

場所：仙台市情報・産業プラザ(予定)

シンポジウム：(未定)

研究発表：(未定)

2. 支部総会・支部役員会等の開催

(1) 支部総会(予定)

日時：2015年7月4日(土) 13:00～13:30

場所：仙台市情報・産業プラザ

議題：

1) 2014年度事業・活動報告・支部会計報告

2) 2015年度事業・活動計画、人事案等

(2) 支部役員会

①第1回役員会

日時：2015年4月25日(土) 12:00～14:30

場所：ホテルメトロポリタン仙台

議題：

1) 2015年度活動計画・人事について

- 2) 東北における国際大会の開催について
- 3) 支部紀要の発行について

②第2回役員会 (予定)

日時：2015年7月4日(土) 12:00~12:50

場所：仙台市情報・産業プラザ

議題：

- 1) 支部例会の内容について
- 2) 2018年度国際大会の開催について
- 3) 支部紀要の発行および編集について
- 4) 支部ニューズレターの発行について

③第3回役員会 (予定)

日時：2015年10月18日(日) 12:00~14:30

場所：仙台市情報・産業プラザ (予定)

議題：

- 1) 2016年度活動計画・人事案(支部の運営、事業・活動計画等)について
- 2) 2018年度国際大会の開催について

④第4回役員会 (予定)

日時：2015年11月29日(日) 12:00~13:50

場所：仙台市情報・産業プラザ (予定)

議題：

- 1) 2016年度活動計画・人事案(支部の運営、事業・活動計画等)について
- 2) 2018年度国際大会の開催について

3. その他

(1) 支部紀要の発行

『TOHOKU TEFL(JACET 東北支部紀要)』Vol. 6

発行日：2016年3月31日(予定)

(2) 支部ニューズレターの発行

1) 『JACET 東北支部通信 (JACET Tohoku Newsletter)』 No. 41

発行日：2015年3月31日

2) 『JACET 東北支部通信 (JACET Tohoku Newsletter)』 No. 42

発行日：2016年3月31日(予定)

(岡崎久美子・仙台高等専門学校)

<北海道支部>

1. 支部大会、支部講演会等の開催

(1) 支部大会 (予定)

日時：2015年7月4日(土) 13:00~17:40

場所：ニセコ町民センター

基調講演：

「CLIL/CBLT が育む英語教師のこころの変化」 笹島 茂 (東洋英和女学院大)

講演①：

“Niseko, English and Social Mobility” Julian Bailey (SMiLE Niseko Language School/ Hokkaido Exam Centre affiliated by Cambridge English Language Assessment)

講演②：

“The Hospitality and Tourism Industry in Niseko” John Barton (Niseko Management Service)

シンポジウム：

「言語教師認知研究と英語教育」 中村香恵子 (北海道科学大)、笹島 茂 (東洋英和女学院大)、河合 靖 (北海道大)、志村昭暢 (北海道教育大)

研究発表：

- 1) 「地域の企業や関係機関と連携したグローバル人材育成に向けた取組」 白鳥金吾 (北星学園大短期大学部)、青山智恵 (ケンブリッジ大学英語検定機構)
- 2) 「英語習熟度の低い大学生が描く英語教師像—教師の自己省察の一助として—」 牧野眞貴 (近畿大)

(2) 研究会

① 2014年度第3回研究会

日時：2015年3月7日(土) 13:00～17:00

場所：藤女子大学 北16条キャンパス

研究発表：

- 1) “Foreign Language Teaching Anxiety among Pre-service EFL Teachers in Japan” 藤井聡美(北海道大・院)
- 2) “English as a Commodification in Late Capitalism?: A Critical Analysis of the JTEs View of the Current Language Policy in Japan” 中津川雅宣(小樽商科大)

② 2015年度第1回研究会

日時：2015年5月23日(土) 10:00～12:40

場所：北海学園大学 豊平キャンパス

統計ワークショップ：

「t検定によるその平均値の差の判定に間違いはなにか～分布と区間推定のはなし」長谷川聡(北海道医療大)

研究発表：

- 1) 「日本人英語学習者を対象とした語用論的定型表現知識尺度」大木七帆(北海学園大・院)

2. 支部総会・支部役員会等の開催

(1) 支部総会(予定)

日時：2015年7月4日(土) 12:30～12:50

場所：ニセコ町民センター

議題：

- 1) 2014年度事業報告
- 2) 2015年度事業計画
- 3) 2015年度人事
- 4) 各種委員会報告
- 5) 2016年度事業計画案
- 6) 2016年度人事案

(2) 支部役員会

① 第1回役員会

日時：2015年5月9日(土) 10:00～12:00

場所：北星学園大学

② 第2回役員会(予定)

日時：7月11日(土) 14:00～16:00

場所：北星学園大学

3. その他

(1) 2014年度支部紀要の発行

Research Bulletin of English Teaching, Vol. 12

発行日：2015年3月15日

(2) 2014年度支部ニューズレターの発行

『JACET北海道支部ニューズレター』28号

発行日：2015年3月31日(インターネット上で公開)

(目時光紀・天使大学)

編集後記

本学会の第8代会長に就任された寺内一先生には、短期間で「巻頭言」をご執筆いただきましてありがとうございました。「巻頭言」で言及されている『JACET 綱領』を2001年に提案したのは当時の会長である小池生夫先生です。その1年前の2000年に、JACETは文部省に対して意見を述べていますが、その中には「大学の外国語教育は混乱状態である。これを改革し、効果ある方向にもっていくことが急務である」(「会長報告」『JACET 通信』124号、2000年9月)がありました。15年経った今、この点はどのように認識されているのでしょうか。

『JACET 綱領』の「目的」の3つめには「本学会は大学英語教育、ひいては日本の外国語教育の改革を目指す」とあります。また、「精神」の1つめには「本学会は日本の外国語教育を通して、次世代の人間の教育に当たる責任と気概を持つ」とあります。さらに、「活動」の1つめには「本学会は国内関連団体および関係方面と協力し、外国語教育等の改善を進める」とあります。これらは、仮に今後も外国語教育の中心を英語が担っていくにしても、私たちはそれ以外の言語やその教育についても考えていく必要があるということの意味しているように思われます。

今後も会員間の話し合いや協力によって、JACETが着実に発展を続けることを願っております。(水島)

編集：『JACET通信』委員会

理事 佐野富士子・横浜国立大学
委員長 水島孝司・南九州短期大学
副委員長 田口悦男・大東文化大学
遠藤雪枝・清泉女子大学
Hamilton, Robert・明治大学
伊藤健一・北九州市立大学
Lieb, Maggie・明治大学
目時光紀・天使大学
村田泰美・名城大学
岡崎久美子・仙台高等専門学校
鳥越秀知・香川高等専門学校
吉村征洋・摂南大学

『JACET 通信』第194号

2015年7月1日発行

発行者 一般社団法人 大学英語教育学会 (JACET)

代表者 寺内 一

発行所 〒162-0831 東京都新宿区横寺町 55

電話(03) 3268-9686 FAX(03) 3268-9695

<http://www.jacet.org>